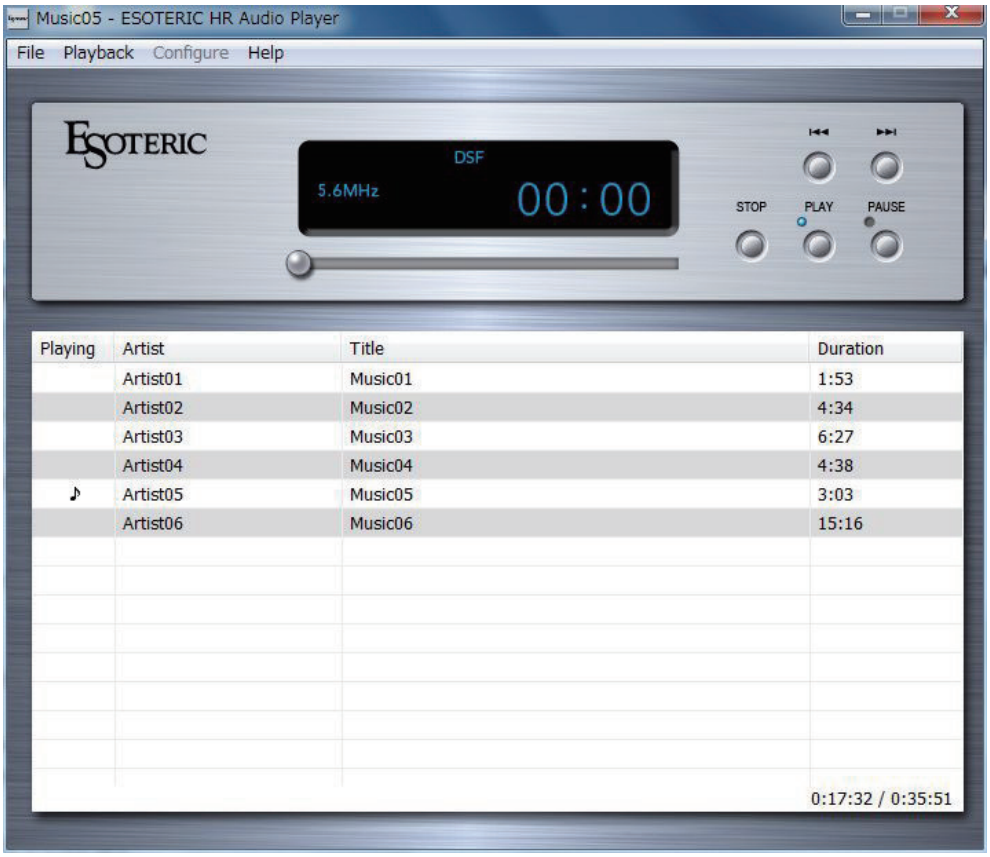
ESOTERIC

ESOTERIC HR Audio Player

エソテリック USB搭載 D/A コンバーター専用
音楽再生ソフトウェア

取扱説明書

ASIO



目次

概要 3
　高音質ファイルフォーマットに対応 3
　対応製品および OS 3

特長 4
　対応する ESOTERIC 製品で簡単・高音質音楽再生 4
　シンプルな画面により CPU 負荷を軽減し高音質を実現 4
　その他の特長 4

Windows での設定方法 5
　ソフトウェアの起動 5
　ご使用前のご注意 5
　ソフトウェアの削除 5
　デバイス (D/A コンバーター) のセットアップ 5
　より高音質再生するには 6

Mac OS での設定方法 7
　ソフトウェアの起動 7
　ソフトウェアの削除 7
　デバイス (D/A コンバーター) のセットアップ 7
　より高音質再生するには 8

操作方法 9
　音源の準備 9
　音源の再生 10
　プレイリストの管理 11

ソフトウェア修正事項 12
　Mac 版 12

"DSD" は登録商標です。"DSD Disc Format" および DSD Disc Format は、ソニー株式会社の商標です。

ASIO is a trademark and software of Steinberg Media Technologies GmbH.

Microsoft, Windows and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

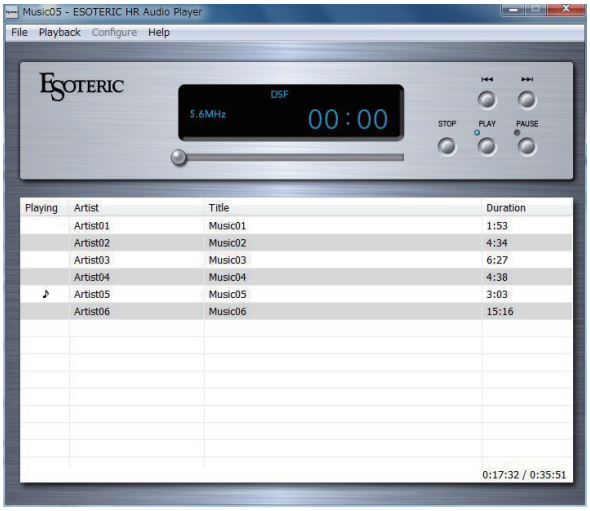
Apple, Macintosh, Mac and Mac OS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

概要

高音質ファイルフォーマットに対応

DSD5.6MHz/PCM384kHz Windows / Mac OS 両対応音楽再生ソフトウェア。



「ESOTERIC HR Audio Player」は、Windows および Mac OS 上で動作するハイレゾ音源対応の高音質プレーヤーソフトウェアです。Grandioso D1 などのハイレゾ音源に対応した ESOTERIC 製 USB 搭載 D/A コンバーターとのコンビネーションにより、複雑な設定をしなくても DSD を含むハイレゾ音源再生を高音質で楽しむことが可能です。

従来の DSD 再生ソフトウェアは専門的なものが多く、高音質再生をするには高度な知識と複雑な設定が必要でしたが、「ESOTERIC HR Audio Player」では、インストール後に設定画面で接続した機器を選択すれば高音質再生環境が完成します。あとは、ドラッグアンドドロップで聴きたいファイルをプレーヤー上に並べるだけで、ハイレゾファイルの高音質再生が可能になります。

簡単にハイレゾファイル再生環境を提供するだけでなく、対応機器のポテンシャルを最大限に発揮できるよう、ソフトウェア側でも高音質再生に配慮。画面表示を簡略化し CPU 負荷を軽減することで、よりスムーズに再生ができるよう配慮しています。Windows 環境下での DSD ファイル再生においては DoP 方式および ASIO2.1 による DSD ネイティブ再生をサポート。リスナーの好みに合わせて再生方法を選択することが可能です。さらに音質を追い込みたいリスナーには、データを一旦パソコン側のメモリに読み込むことで CPU 負荷変動による音質劣化を避ける RAM バッファ再生機能を搭載しています。

対応製品および OS

Grandioso D1、D-02、D-07X、K-01、K-03、K-05、K-07

Windows： Windows Vista (32bit 版、64bit 版)
Windows 7 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)

Mac OS： OS X Lion（10.7)
OS X MountainLion (10.8)
OS X Mavericks (10.9)

で動作します。(2014 年 3 月現在)

- D-02、D-07X、K-01、K-03、K-05、K-07 は USB 設定、「HS-2 モード」（アシンクロナスモード）でのみ対応します。

特長

対応する ESOTERIC 製品で簡単・高音質音楽再生

Grandioso D1 などの対応する ESOTERIC USB 搭載 D/A コンバーター製品において、簡単にハイレゾファイル再生を楽しむことが可能です。専門のソフトウェアと異なり、設定が非常にシンプルな構成となっており、ソフトウェア以外にプラグインなどをインストールする必要もありません。

対応製品：Grandioso D1、D-02、D-07X、K-01、K-03、K-05、K-07

- DSD ファイル再生が可能なモデルは Grandioso D1 に限られます。(2014 年 4 月現在)
- 機器側の対応フォーマットを超えてファイル再生を行うことはできません。

ASIO2.1 又は DoP 方式による DSD2.8/5.6MHz ファイル再生に対応

DSD Direct Stream Digital　DSD Disc Format

Grandioso D1 と Windows における DSD の再生方式は、PCM への変換を行わずにダイレクトに DSD をアナログ化する DSD ネイティブ再生に対応。ASIO2.1 又は DoP(DSD Audio over PCM Frames) 方式での再生が可能で、2.8MHzDSD ファイルだけでなく 5.6MHzDSD ファイルにも対応しています。

DSD にとどまらず、様々な形式のハイレゾファイル再生に対応

DSD2.8/5.6MHz ファイルだけでなく、PCM においても最大 384kHz ファイルの再生に対応。また、FLAC においても最大 384kHz ファイルの再生に対応しています。

対応ファイル形式

DSF (拡張子 dsf)	2.8/5.6MHz
DSDIFF (拡張子 dff)	2.8/5.6MHz
PCM (拡張子 wav)	44.1k ～ 384kHz,16 ～ 32bit
FLAC (拡張子 flac)	44.1k ～ 384kHz,16 ～ 32bit
MP3 (拡張子 mp3)	32k ～ 320kbps

Mac OS においても DSD ファイル再生が可能

Windows 環境だけでなく、Mac OS においても DoP 方式による DSD ファイル再生をサポートしています。(Mac OS 環境では DoP 再生のみとなります。)

シンプルな画面により CPU 負荷を軽減し高音質を実現

シンプルな画面表示とすることで、CPU 負荷を軽減し高音質化を実現。さらに高音質ファイル再生を追い込みたい方のために、パソコン側のメモリにデータを蓄積してから再生するために高音質再生が可能となる RAM バッファ再生を可能にしています。

その他の特長

- プレイリストの作成、保存、読み込みが可能
- プレイリストおよび曲ごとのリピート再生機能
- プレイリストのシャッフル再生機能
  ※対応製品以外では動作しません。

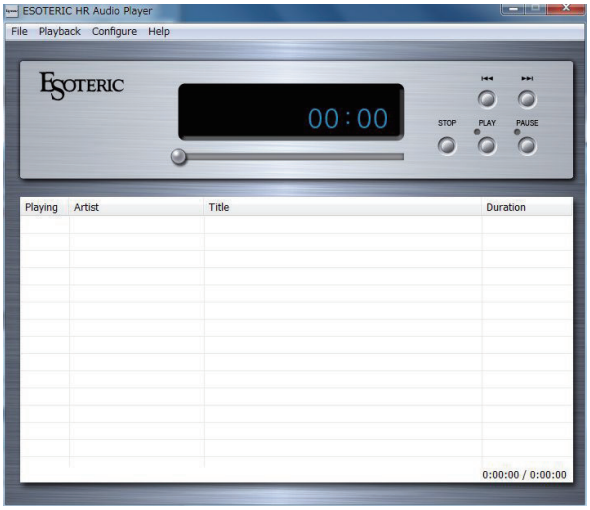
Windows での設定方法

ソフトウェアの起動

ESOTERIC HR Audio Player にインストーラーは有りません。ダウンロードしたファイルを展開したフォルダ内にあるプログラムファイル「ESOTERIC-HRAudioPlayer.exe」をダブルクリックして実行します。
展開したフォルダはデスクトップ等の任意の場所に置いてください。

注：本ソフトウェアは、パソコンに D/A コンバーターを接続してから起動してください。

「ESOTERIC HR Audio Player」を起動すると、メイン画面が表示さます。



ご使用前のご注意

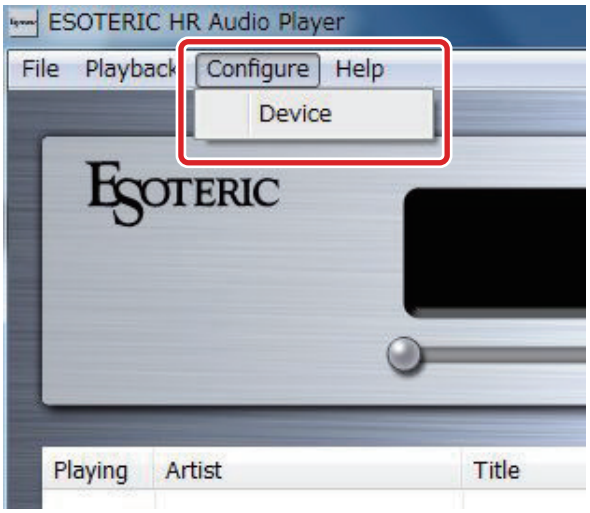
ダウンロード後に展開されたフォルダにあるプログラム「ESOTERIC-HRAudioPlayer.exe」はこのフォルダから移動しないでください。
本プログラムは「Plugin フォルダ」と「wasapirenderer.dll」が同じフォルダ内に無いと正常動作しませんのでご注意ください。

ソフトウェアの削除

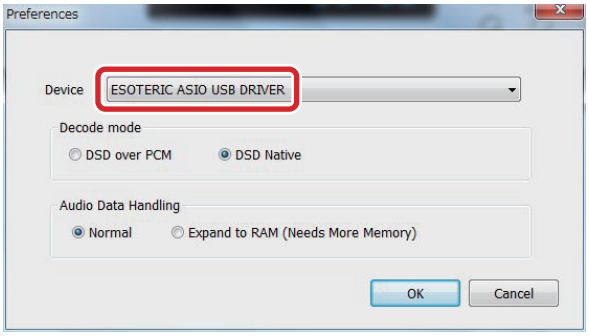
ESOTERIC HR Audio Player を削除したい場合は、プログラムファイル「ESOTERIC-RAudioPlayer.exe」を含むフォルダごと削除してください。

デバイス (D/A コンバーター) のセットアップ

[Configure] メニューから [Device] を選択します。



[Configure] ウインドウが現れますので、[Device] の項目で、接続されている D/A コンバーターを選択してください。



これで「ESOTERIC HR Audio Player」から D/A コンバーターに音声を出力する準備が整いました。

- D/A コンバーターを接続していない状態で本ソフトウェアを起動すると、デバイス設定が消去される場合があります。
  その場合は、D/A コンバーターを接続してから、本ソフトウェアを起動し、再度デバイスのセットアップを行ってください。
- D-02、D-07X、K-01、K-03、K-05、K-07 の場合は、「WASAPI:ESOTERIC USB HS ASYNC AUDIO DEVICE」を選択してください。

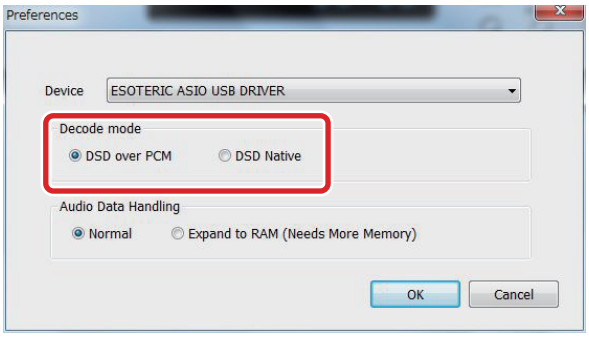
次のページに続きます。 ➡

より高音質再生するには

DSD 再生方式の選択

DSD のファイルを再生する場合、Windows 版の「ESOTERIC HR Audio Player」では再生方式を選択することができます。

[Configure] から [Device] を選択し [Configure] ウインドウを開きます。
[Decode mode] の項目で、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。



[DSD over PCM]
DoP(DSD Audio over PCM Frames) 方式と呼ばれる再生方式で、通常の PCM 方式の信号に DSD 信号を埋め込んで再生します。

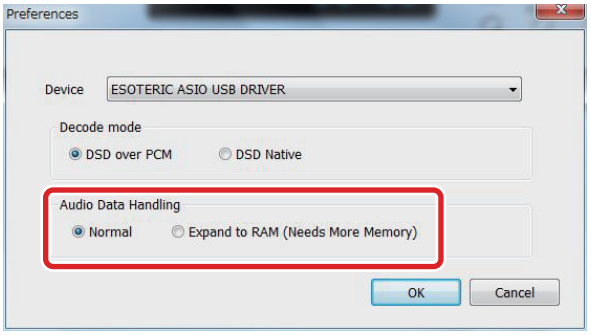
[DSD Native]
ASIO2.1 ドライバーによって、PCM への変換などを行わずに DSD ファイルをダイレクトに転送します。

データ読み込み方法の選択

ファイルを再生する場合の、データ読み込み方法を選択することができます。

[Configure] から [Device] を選択し [Configure] ウインドウを開きます。

[Audio Data Handling] の項目で、[Normal] もしくは [Expand to RAM] を選択することができますので、より高音質の再生を行いたい場合は [Expand to RAM] を選択してください。



[Normal]
通常のファイルのアクセスと同じ方法で読み込みを行います。

[Expand to RAM]
再生するファイルを一旦 RAM に読み込んでから再生します。再生と同時に読み込みを行わないため安定した状態で再生を行うことが可能で、高音質再生を実現します。

- [Expand to RAM] を選択した場合は、お使いのパソコンの処理速度が遅い場合、再生するまでに時間がかかることがあります。

Mac OS での設定方法

ソフトウェアの起動

ESOTERIC HR Audio Player にインストーラーは有りません。ダウンロードしたファイルを展開したフォルダ内にあるアイコン「ESOTERIC HR Audio Player」をダブルクリックして実行します。展開したフォルダはデスクトップ等の任意の場所に置いてください。

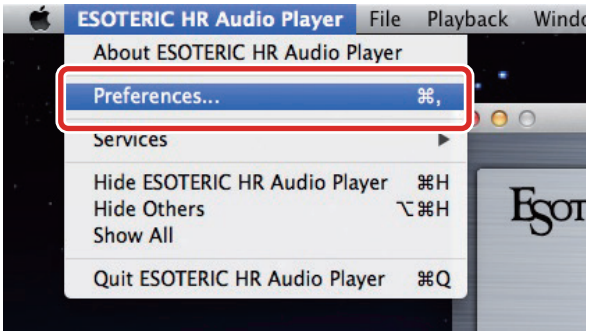
注：本ソフトウェアは、パソコンに D/A コンバーターを接続してから起動してください。

ソフトウェアの削除

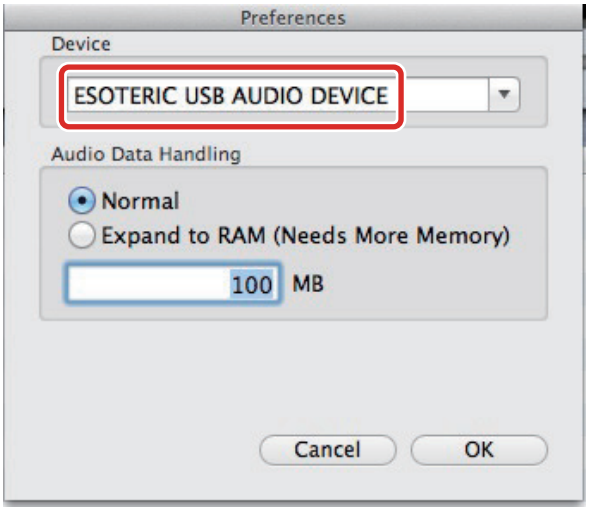
ESOTERIC HR Audio Player を削除したい場合は、アイコン「ESOTERIC HR Audio Player」を含むフォルダごと削除してください。

デバイス (D/A コンバーター) のセットアップ

メニューバーの [ESOTERIC HR Audio Player] から、[Preferences…] を選択します。



[Preference] ウインドウが現れますので、[Device] の項目で、接続されている D/A コンバーターを選択してください。



これで「ESOTERIC HR Audio Player」から D/A コンバーターに音声を出力する準備が整いました。

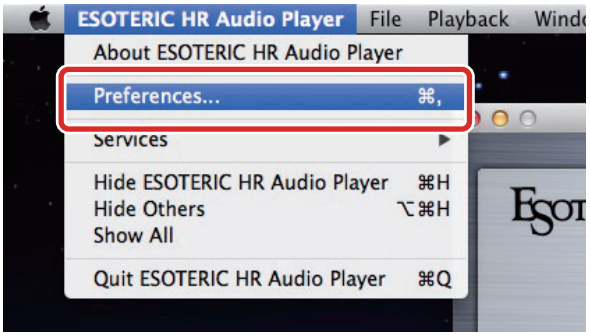
- D/A コンバーターを接続していない状態で本ソフトウェアを起動すると、デバイス設定が消去される場合があります。
  その場合は、D/A コンバーターを接続してから、本ソフトウェアを起動し、再度デバイスのセットアップを行ってください。
- D-02、D-07X、K-01、K-03、K-05、K-07 の場合は、「WASAPI:ESOTERIC USB HS ASYNC AUDIO DEVICE」を選択してください。

より高音質再生するには

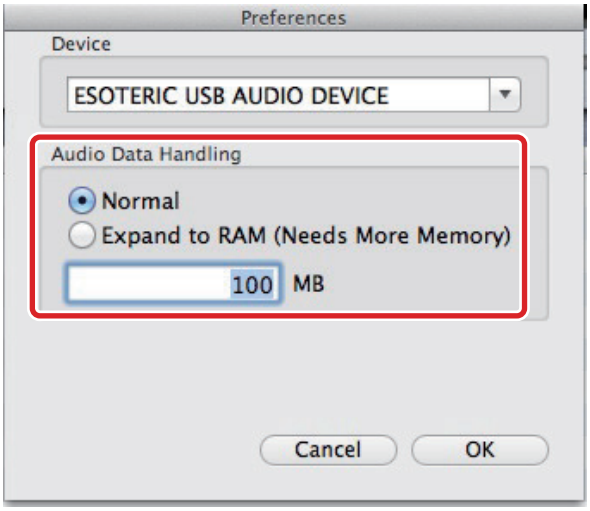
データ読み込み方法の選択

ファイルを再生する場合の、データ読み込み方法を選択することができます。

メニューバーの [ESOTERIC HR Audio Player] から [Preferences…] を選択し [Preference] ウインドウを開きます。



[Audio Data Handling] の項目で、[Normal] もしくは [Expand to RAM] を選択することができますので、より高音質の再生を行いたい場合は [Expand to RAM] を選択してください。



[Normal]

通常のファイルのアクセスと同じ方法で読み込みを行います。

[Expand to RAM]

再生するファイルを一旦 RAM に読み込んでから再生します。再生と同時に読み込みを行わないため安定した状態で再生を行うことが可能で、高音質再生を実現します。[Expand to RAM] を選択した場合は、Expand to RAM 機能で使用するメモリの最大容量を設定することができます。よく聴くファイル形式に合わせて楽曲が読み込めるメモリ容量を任意で設定してください。

- [Expand to RAM] を選択した場合は、お使いのパソコンの処理速度が遅い場合、再生するまでに時間がかかることがあります。

操作方法

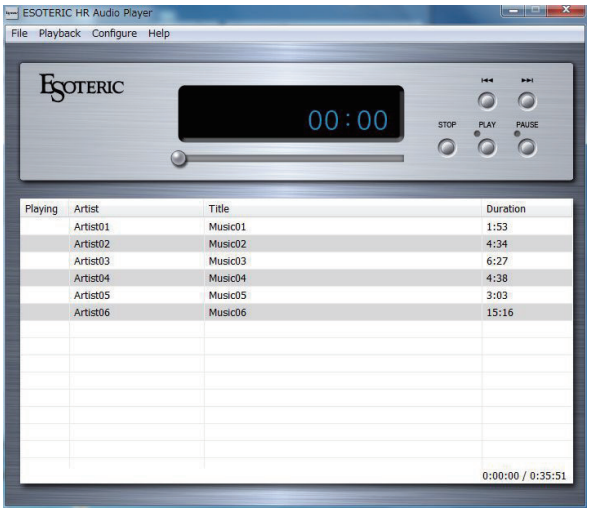
操作方法は WIndows 版と Mac OS 版は共通です。
本取扱説明書では、Windows 版を使って説明します。

音源の準備

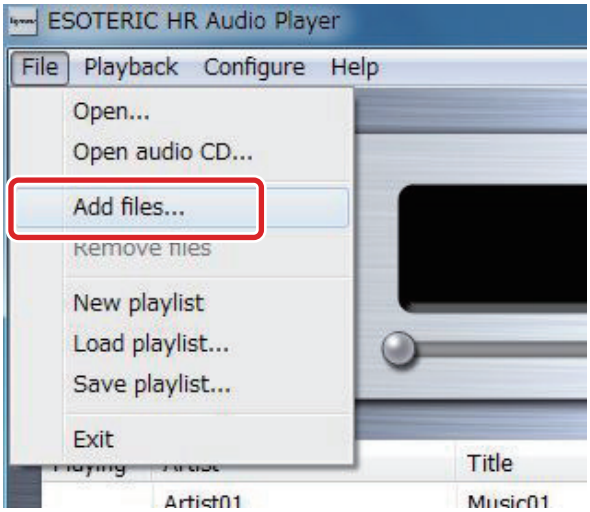
聴きたい音源を、「ESOTERIC HR Audio Player」で再生できるように準備します。

メイン画面下部のスペースをプレイリストと呼びます。まずは聴きたい曲をこのプレイリストに追加します。

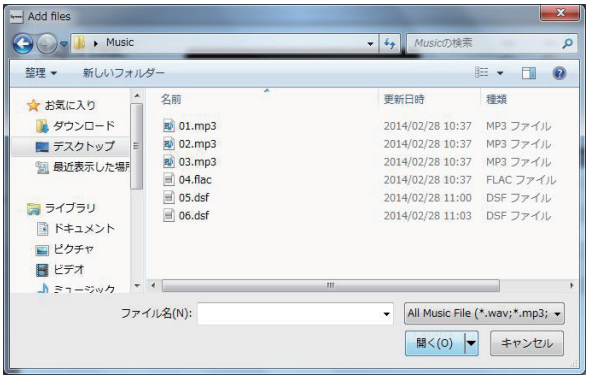
- パソコン上にあるファイルをドラッグアンドドロップで追加することも可能です。



メイン画面において、左上の [File] メニューから [Add file…] を選択すると、[Add file] ウインドウが開きます。



ウインドウ内にて、聴きたいファイルを選択し [開く (O)] をクリックすると、「ESOTERIC HR Audio Player」にファイルが追加されます。
ファイル選択時に、複数のファイルをまとめて選択し [開く (O)] をクリックすることで複数のファイルを一度に追加することも可能です。



次のページに続きます。 ➡

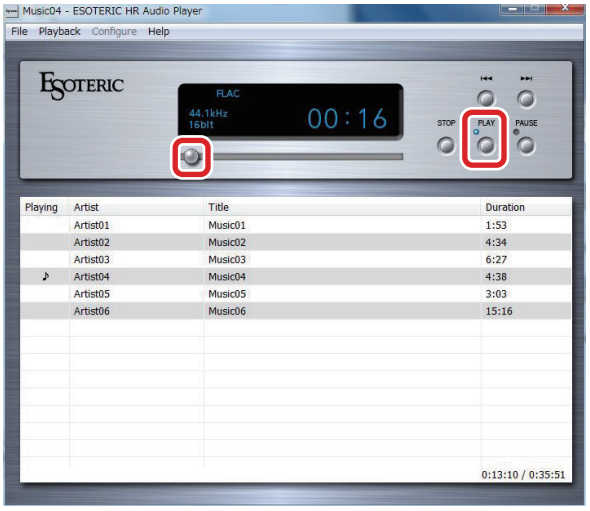
音源の再生

プレイリスト作成後、[PLAY] ボタンをクリックするとリストの先頭から再生を開始します。
停止したい場合は [STOP] ボタンを、一時停止したい場合は [PAUSE] ボタンをクリックします。

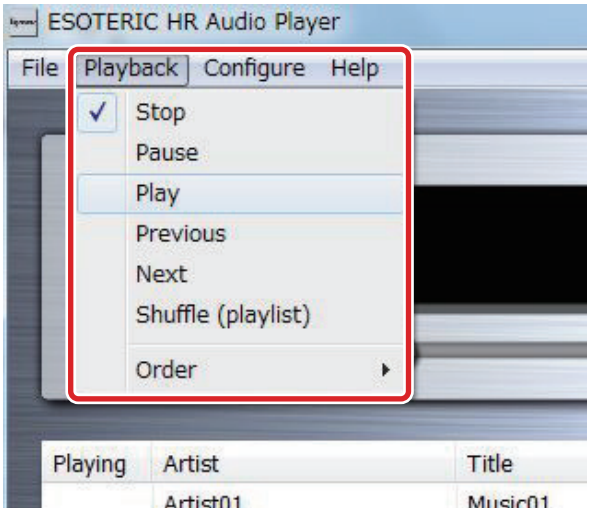
[STOP] ボタンで再生停止した場合は、次に [PLAY] ボタンを押すと、停止したファイルの先頭から再生します。

任意のファイルから再生を開始したい場合は、希望するファイルが表示されている行をマウスでダブルクリックしてください。

再生中に、時間表示部の下にあるスライダーをマウスを使って移動させると、任意の位置に再生ポイントを移動できます。



メイン画面の [Playback] メニューから再生操作を行うことも可能です。



[Stop]
再生中のファイルを停止します。[STOP] ボタンと同じ動作です。

[Pause]
再生中のファイルを一時停止します。[PAUSE] ボタンと同じ動作です。

[Play]
再生を開始します。[PLAY] ボタンと同じ動作です。

[Previous]
ひとつ前の曲（プレイリスト上でひとつ上の曲）に戻ります。

[Next]
次の曲（プレイリスト上でひとつ下の曲）に進みます。

[Shuffle(playlist)]
プレイリスト内の曲をシャッフル（ランダム）再生します。

[Order]
リピート再生の方法を選択するメニューです。

[Order]>[Default]
リピート再生しません。

[Order]>[Repeat(playlist)]
プレイリスト内でリピート再生します。

[Order]>[Repeat(title)]
現在選択されている曲のみリピート再生します。

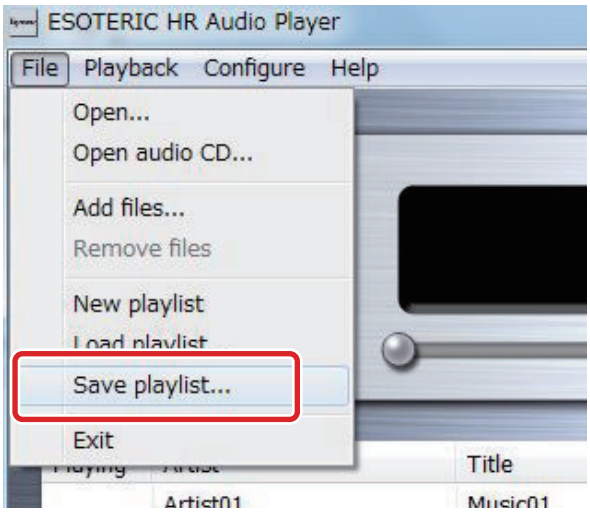
プレイリストの管理

プレイリストに追加した曲をプレイリストとして保存することができます。よく聴く曲を集めたプレイリストを作成しておくと便利です。

- プレイリストとして保存しない場合は「ESOTERIC HR Audio Player」を終了するとプレイリストが削除されます。

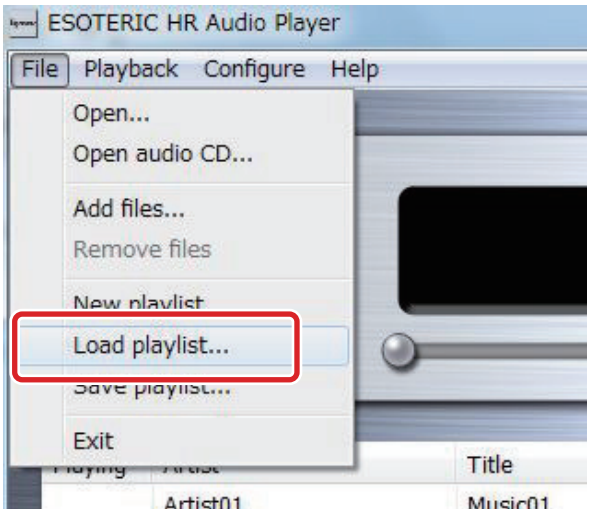
プレイリストの保存

聴きたい曲をプレイリストに追加した状態で、[File] メニューから [Save playlist…] を選択します。[Save playlist] ウインドウが開きますので、任意の場所を選択して [保存 (S)] をクリックするとプレイリストが保存されます。

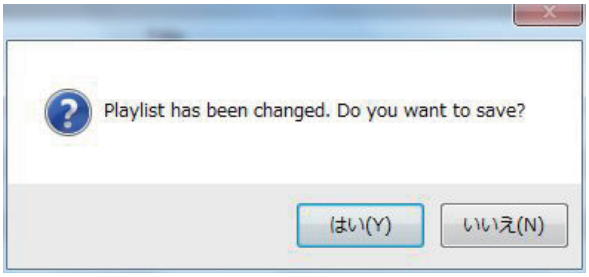


プレイリストの読み込み

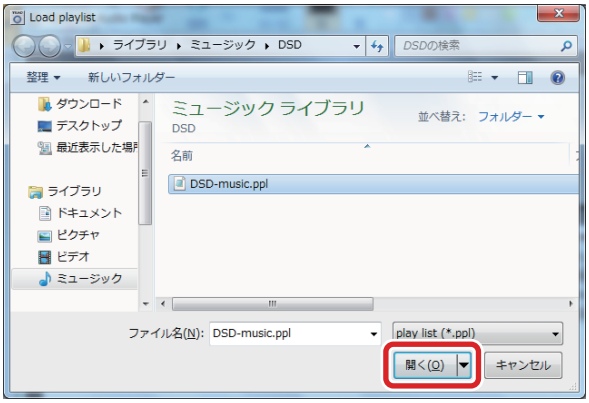
「ESOTERIC HR Audio Player」を起動した直後はプレイリストに何も曲が入っていません。保存されているプレイリストを読み込むことで、すぐに再生の準備を整えることができ便利です。また、既にプレイリストが作成された（曲が追加されている）状態で新たにプレイリストを読み込むこともできます。複数のプレイリストを作成し、曲のジャンルや音源の性質ごとに分けておくと便利です。
[File] メニューから [Load playlist] を選択します。



現在すでにプレイリストが作成されている（曲が追加されている）場合は、以下のようなウインドウが開きます。
保存する必要がある場合は [はい (Y)] を選択し保存してください。
保存する必要がない場合は [いいえ (N)] を選択してください。



[Load playlist] ウインドウが開きますので、プレイリスト (拡張子 .ppl) が保存してある場所から任意のプレイリストファイルを選択し、[開く (O)] をクリックすると保存されていたプレイリストが展開されます。



ソフトウェア修正事項

Mac 版

Version 1.0.0.3

- 特定のファイルを再生した時に曲の最後でアプリケーションがハングアップする問題を修正しました。